

**Smart Professional Surveillance System**  
**クイックマニュアル**

株式会社 ASK TRADING

**Version 2.02.1**

# 目次

1	概要及び動作環境 .....	4
1.1	概要.....	4
1.2	SmartPSS インターフェース.....	4
1.3	動作環境.....	5
2	インストール.....	6
2.1	インストール.....	6
2.2	アンインストール .....	9
3	ログイン.....	10
4	デバイス .....	11
4.1	自動検索.....	11
4.2	手動追加.....	13
4.3	インポート追加.....	14
4.4	IP 変更.....	15
5	ライブビュー .....	17
5.1	ライブビュー.....	17
5.2	マップ .....	22
5.2.1	新規マップ .....	22
5.2.2	新規ホットゾーン .....	24
5.3	IVS チャンネル設定.....	26
5.4	Smart Track Config (Fisheye+Dome).....	28
5.5	Smart Track Config (Dome+Fixed).....	28
5.6	PTZ.....	28
5.7	フィッシュアイビューモード.....	31
6	再生.....	32
6.1	再生.....	32
6.2	録画データ検索.....	35

6.3	録画データのエクスポート.....	36
6.4	静止画データの再生.....	38
6.5	静止画データのエクスポート.....	39
7	システム.....	41
8	ユーザ.....	42
8.1	ユーザ追加.....	42
8.2	ユーザ変更・削除.....	44

## ようこそ

SmartPSS をご使用下さり、ありがとうございます。このユーザーマニュアルは Smart PSS ソフトウェアを操作するためのリファレンスツールです。ここから SmartPSS について詳細な操作情報を見つけることができます。

# 1 概要

## 1.1 概要

SmartPSS は Smart Professional Surveillance System の略称です。

このソフトウェアは小規模の CEPSA セキュリティ監視装置を管理します。このソフトウェアは他社の製品はサポートしません。このソフトウェアには以下のような特徴があります：

- ・ 複数カメラチャンネルのリアルタイム表示
- ・ 様々なカメラ映像の録画ファイル再生表示
- ・ PC による複数スケジュールでの自動警戒監視をサポート
- ・ 電子マップをサポート: 全てのデバイスを明確に監視・管理可能
- ・ ビデオウォールプレビューをサポート
- ・ 人数カウントとヒートマップをサポート
- ・ ログ検索、エクスポートをサポート

## 1.2 SmartPSS インターフェース

SmartPSS ソフトウェアインターフェイスには、機能タブ、システム情報、機能リスト、ショートカット、およびヘルプの 5 つの部分が含まれています。(図 1-1)

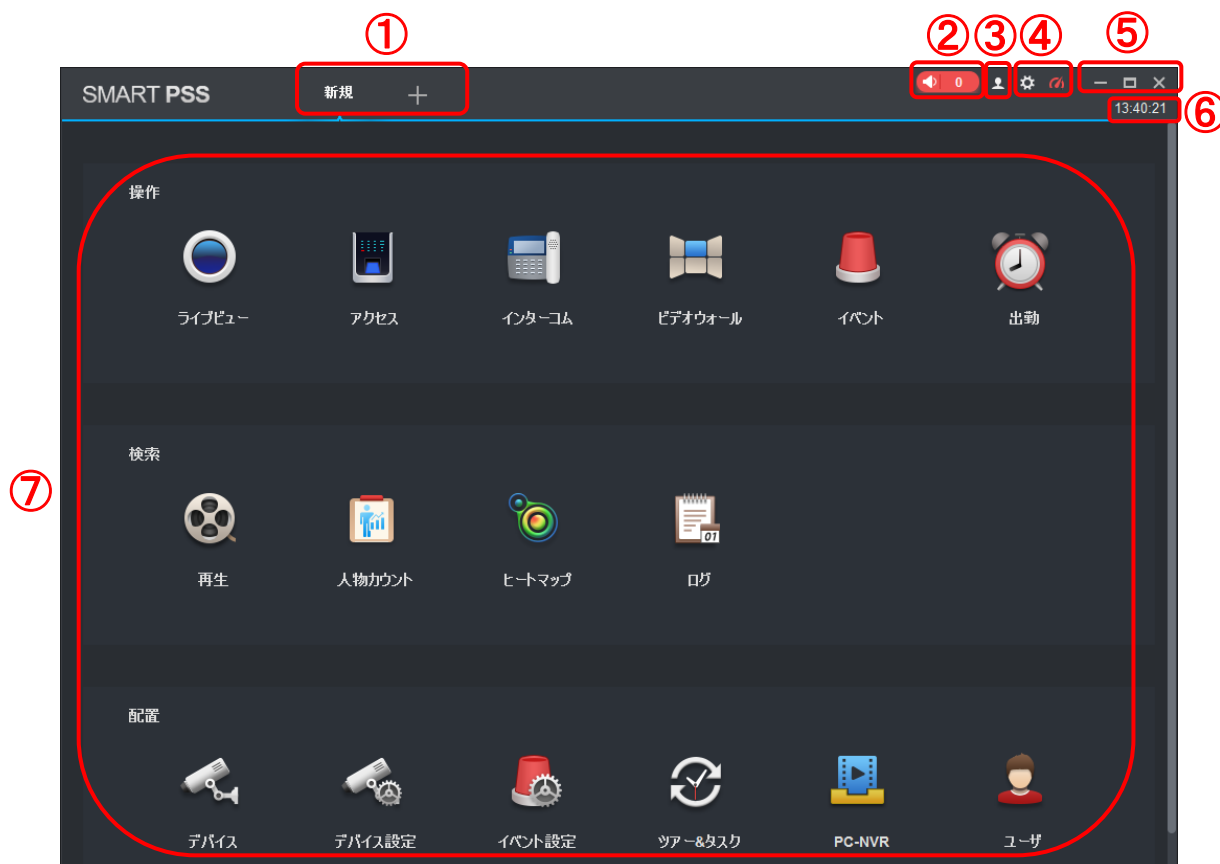


図 1-1

項目	必要条件
①機能タブ	アイコンをクリックすると新規タブを開くことができます。
②イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・をクリックし、アラーム音を ON/OFF できます。</li> <li>・をクリックすると、イベント画面を表示します。</li> </ul>
③ユーザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・をクリックし、下記メニューを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロックスクリーン設定</li> <li>・ユーザー切り替え</li> <li>・ヘルプマニュアル</li> <li>・製品について</li> <li>・ユーザーウィザード</li> </ul> </li> </ul>
④システム管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・をクリックすると、システム設定を開きます。 基本/プレビュー/再生/デバイス管理等</li> <li>・をクリックすると、システムの CPU 占有状況とメモリを表示します。CPU 占有率が高い場合は、警告として赤色になります。</li> </ul>
⑤ウィンドウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・をクリックすると、ウィンドウを最小化します。</li> <li>・をクリックすると、ウィンドウを最大化します。</li> <li>・をクリックすると、終了します。</li> </ul>
⑥システムタイム	・  13:40:21 システムの現在時刻を表示します。
⑦機能リスト	ライブビュー、アクセス、インターコム、ビデオウォール、イベント、出勤、再生、人物カウント、ヒートマップ、ログ、デバイス、デバイス設定、イベント設定、ツアー&タスク、PC-NVR、ユーザ、が選択できます。

### 1.3 動作環境

項目	必要条件
OS	Windows 7/Windows 8/Windows 10 (32/64 bit)
CPU	Intel core i3 2.4GHz 以上
グラフィック	Intel HD グラフィック以上
メモリ	2GB 以上
画面解像度	1024×768 以上

## 2 インストール

### 2.1 インストール

- 1) “SmartPSS\_Setup.exe”をダブルクリックしインストールを開始します。

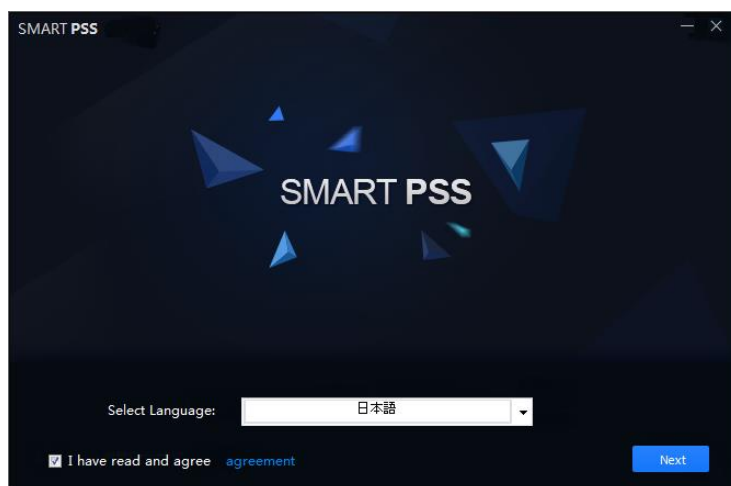


図 2-1

- 2) ドロップダウンリストより使用言語を選択し(図 2-1)、「I have read and agree」にチェックを入れ、Next をクリックするとシステムモジュールインストール画面が表示されます。(図 2-2)

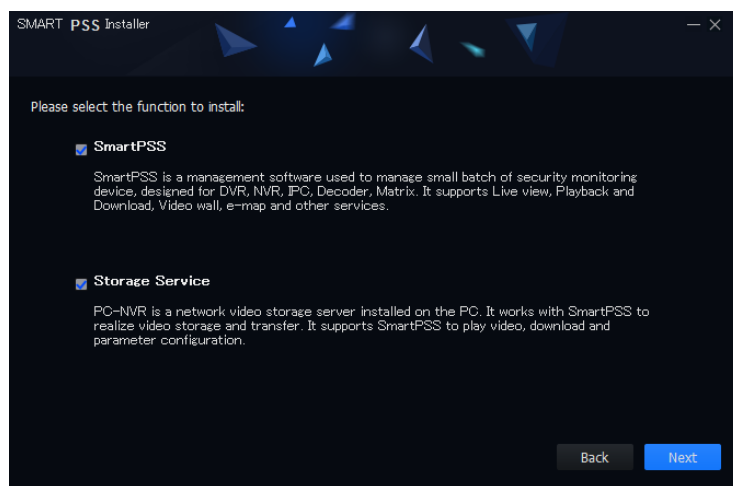


図 2-2

- 3) Smart PSS にチェックを入れ Next をクリックするとインストールフォルダを尋ねてきます。(図 2-3)

注:

必要なら Storage Service にチェックを入れます。

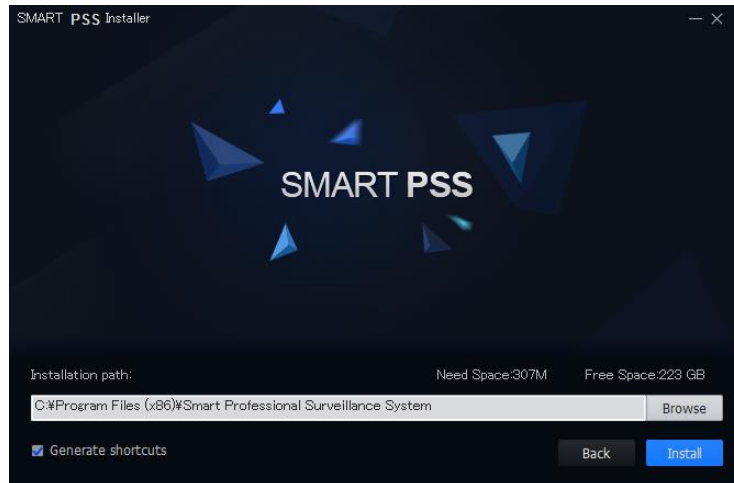


図 2-3

- 4) インストールフォルダを選択した後、**Next** をクリックするとインストールを開始します。(図 2-4)

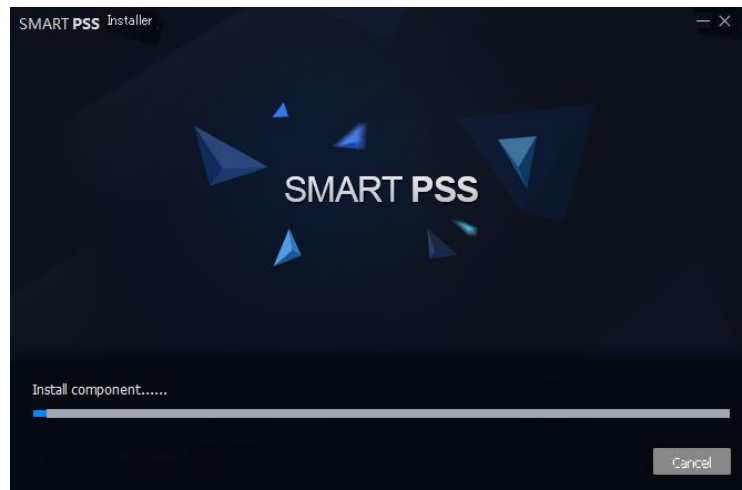


図 2-4

- 5) インストールの途中で **Cancel** をクリックするとインストールを中止します。インストールが成功すると以下の画面が表示されます。(図 2-5)



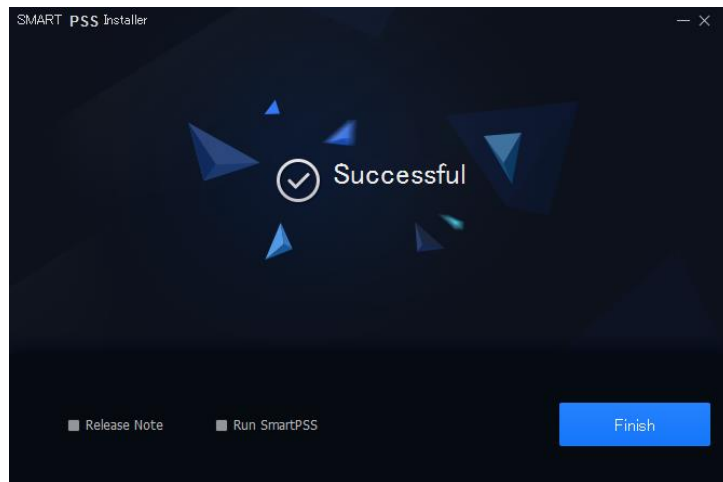


図 2-5

6) **Finish** をクリックしてインストール完了です。

## 2.2 アンインストール

- 1) スタートメニュー > 全てのプログラム > Smart PSS の中の **Uninstall Smart PSS** を選択するとこの以下の画面を表示します。(図 2-6)

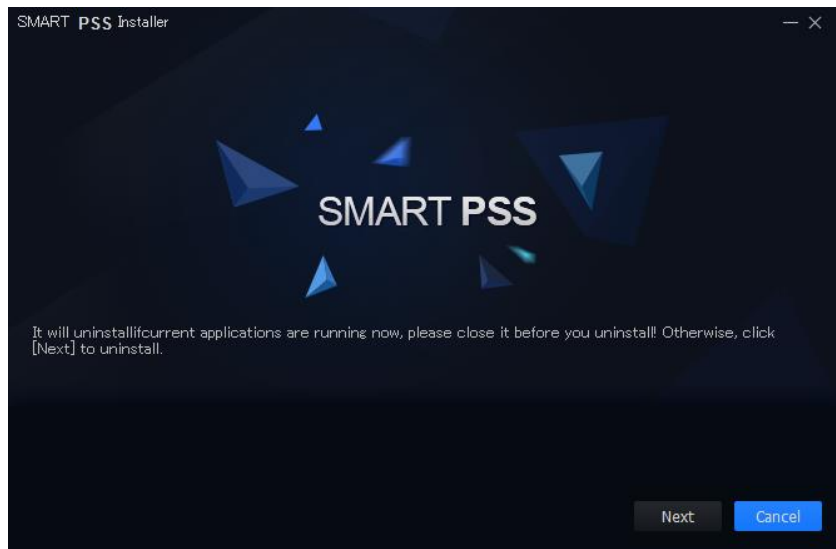


図 2-6

- 2) **Next** をクリックすると以下の画面を表示します。(図 2-7)

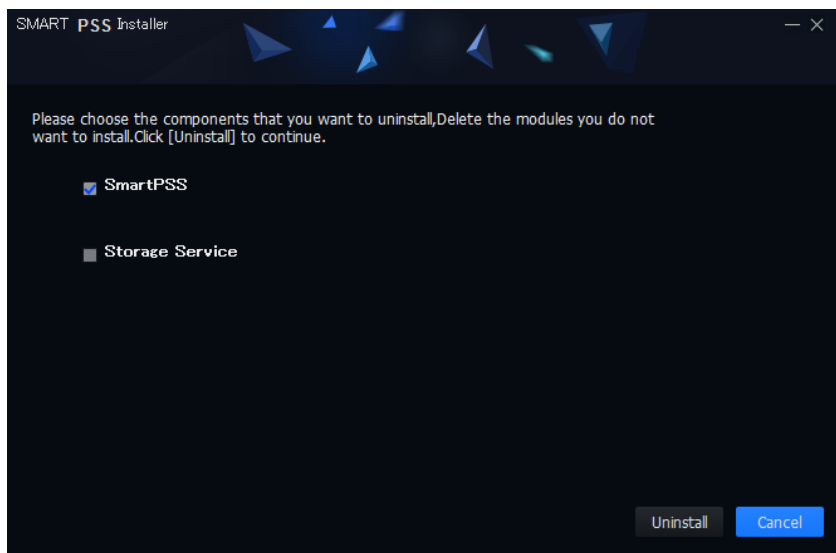


図 2-7

- 3) **Smart PSS** にチェックを入れます。(Storage Service にチェックを入れてアンインストールする事も出来ます。)  
**Uninstall** をクリックするとアンインストールを実行します。

### 3 ログイン

デスクトップの Smart PSS アイコンをダブルクリックするとログイン画面を表示します。



- Smart PSS への最初のログイン時にパスワード設定画面が表示されます。任意の英数字(8 文字以上)でパスワードを登録して下さい。(図 3-1)

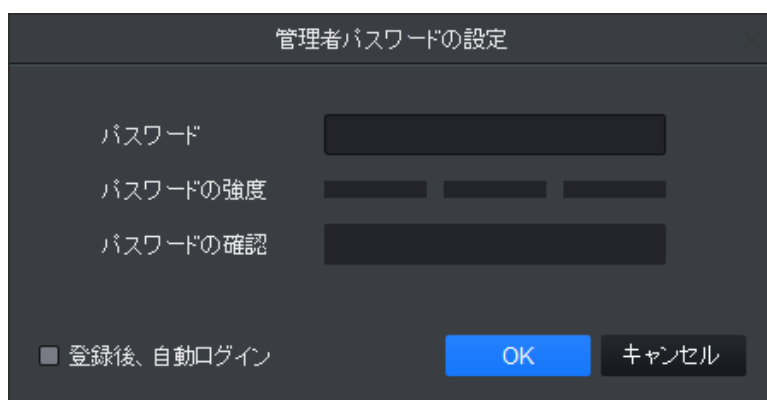
A dark gray dialog box titled "管理者パスワードの設定" (Administrator Password Setting). It contains three input fields: "パスワード" (Password), "パスワードの強度" (Password Strength), and "パスワードの確認" (Password Confirmation). Below the fields is a checkbox labeled "登録後、自動ログイン" (After registration, auto-login). At the bottom right are two buttons: "OK" (blue) and "キャンセル" (gray).

図 3-1

- Smart PSS の初期ユーザー名は **admin** です。パスワードを入力し**ログイン**をクリックしてログインします。(図 3-2)

注:

次にログインする時にユーザー名とパスワードを入力する必要がある様に記憶させておく事が出来ます。

A dark blue login window titled "SMART PSS". It features a light blue login form with a user icon and the text "admin" in the username field, and a password field with masked dots. Below the form are two checkboxes: "パスワードを保存" (Save password) and "オートログイン" (Auto-login), followed by a blue "ログイン" (Login) button.

図 3-2

## 4 デバイス

ログインが成功すると、デバイス画面を表示します。(図 4-1)

ここでは、自動検索で単一のデバイスまたはバッチデバイスを追加できます。また、デバイスを設定して操作することもできます。

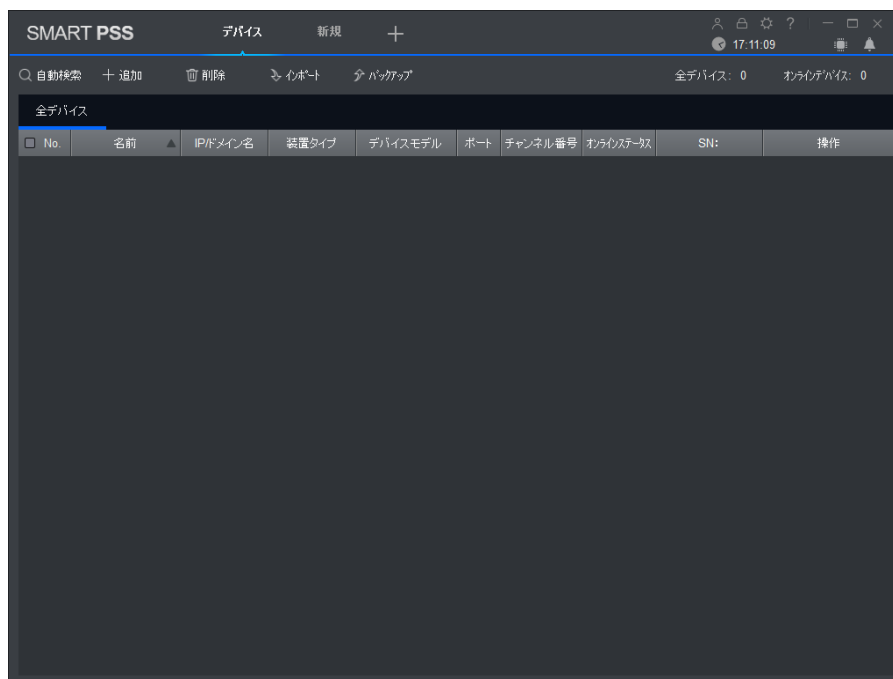


図 4-1

### 4.1 自動検索

- 1) デバイス画面で、**自動検索**をクリックします。
- 2) デバイスセグメントを設定し、**検索**をクリックします。(図 4-2)

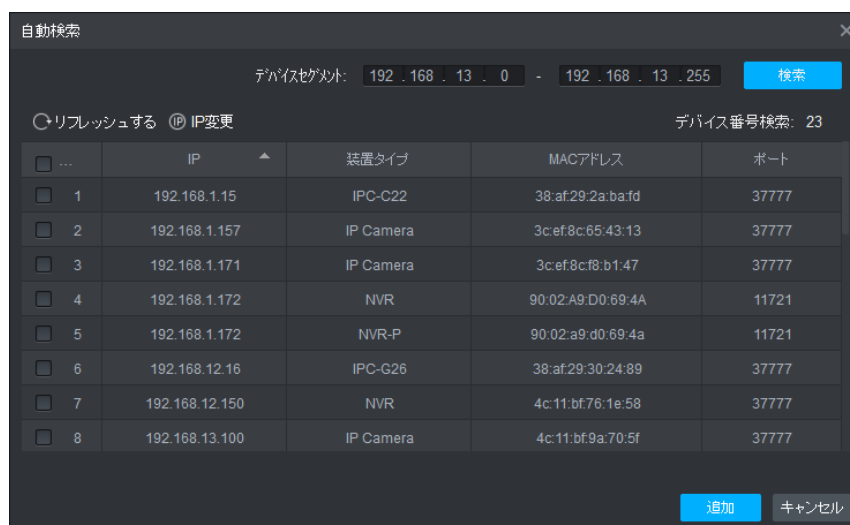







図 4-2

注:

- ・ **リフレッシュする**をクリックすると、検索した最新のデバイスが表示されます。
  - ・ 各デバイスの IP アドレスをチェックしてください。
  - ・ 変更するデバイスの IP アドレスを確認し、**IP 変更**をクリックして IP アドレスを変更します。(4-4 章)
- 3) 追加するデバイスにチェックを入れ、**追加**をクリックします。
  - 4) **OK** をクリックすると**ログイン情報**が表示されます。
  - 5) デバイスのユーザー名とパスワードを入力し **OK** をクリックします。デバイスを追加した後、**キャンセル**をクリックすると、システムにデバイスが追加されて表示されます。(図 4-1)

注:

- ・ デバイス追加後、デバイス名、IP/ドメイン名、装置タイプ、デバイスモデル、ポート、チャンネル番号、オンラインステータス、SN、および動作が表示されます。
- ・ デバイスを追加した後、デバイスにはデバイスタイプが自動表示されます。ここに追加されたデバイスを確認できます。
- ・ 異なるデバイスの場合、実際のインターフェースの対象となるインターフェースに注意してください。
- ・  をクリックすると、デバイス情報を変更できます。
- ・  をクリックすると、デバイス設定ページに移動します。
- ・  をクリックしてデバイスからログアウトします。アイコンが  に変わったら、もう一度クリックして再ログインしてください。
- ・ 削除するデバイスを確認し、**削除**をクリックしてデバイスを一括削除します。1 つずつ削除する  をクリックします。
- ・ エクスポートするデバイスを確認し、**バックアップ**をクリックします。
- ・ システム設定で**デバイスチャンネル番号**を表示する様になると、デバイスチャンネル番号が表示されます。**No.**をクリックすると、デバイスチャンネル番号をカスタマイズできます。これは主にキーボードによる操作に使用されます。

## 4.2 手動追加

- 1) デバイス画面で、**+追加**をクリックします。
- 2) デバイスパラメータを設定します。(図 4-3)

図 4-3

項目	機能
デバイス名	デバイス名を入力します。
登録モード	IP/ドメインか SN を選択します。
IP/ドメイン名	IP アドレスかドメイン名を入力します。(IPv6 も可能)
SN	デバイスのシリアル No.を入力します。(P2P デバイスのみ)
ポート	TCP ポート番号を入力します。(初期値:37777)
グループ名	グループ名を選択します。
ユーザー名	デバイスのログインユーザー名を入力します。
パスワード	デバイスのログインパスワードを入力します。

- 3) **追加**をクリックしてデバイスの追加をさせます。**保存して続ける**をクリックしてさらにデバイスを追加することもできます。

### 4.3 インポート追加

デバイスをバッチインポートする前に、デバイス情報が必要です。デバイス情報をエクスポートしてデバイス情報ファイルを取得することができます。

- 1) デバイス画面で、**インポート**をクリックします。(図 4-4)



図 4-4

- 2) 実際の条件に従ってインポート方法を選択します。
  - ・ ローカルからインポートする場合はローカルパスを選択します。
  - ・ www.easy4ip.com からインポートする場合は、ユーザー名、パスワードを入力します。
- 3) **インポート**をクリックします。デバイスが正常にインポートされるとシステムメッセージを表示するので **OK** をクリックします。

## 4.4 IP 変更

- 1) 画面で、**自動検索**をクリックします。
- 2) デバイスセグメントを設定し、**検索**をクリックします。(図 4-5)



図 4-5

- 3) IP アドレスを変更するデバイスを確認し、**IP 変更**をクリックします。
- 4) 変更するネットワーク情報を表示入力し、保存をクリックします。(図 4-6)

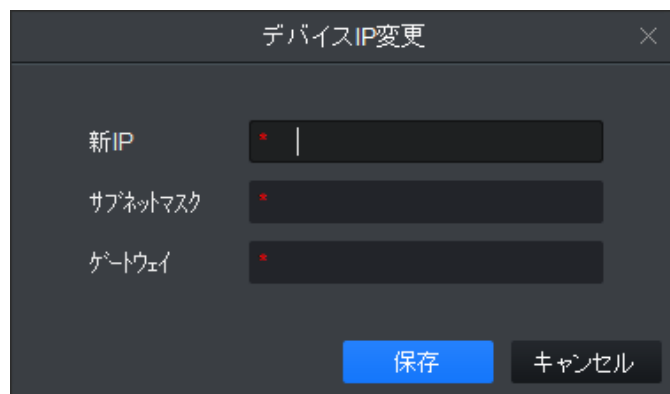


図 4-6

- 5) ユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックします。
- 6) 複数のデバイスを選択すると、デバイス IP の一括変更が表示されます。(図 4-7)



デバイスIPの一括変更

2デバイスは選択されています!

始点IP \*

サブネットマスク \*

ゲートウェイ \*

保存 キャンセル

図 4-7

- 7) 始点 IP、サブネットマスク、ゲートウェイを設定し、保存をクリックします。

## 5 ライブビュー

### 5.1 ライブビュー

インスタント再生、デジタルズーム、ストリームの切り替え、デバイスパラメータの設定、インテリジェントチャンネルの設定、マスタースレーブ設定の設定、チャンネル情報の更新などができます。

新規タブで、**ライブビュー**をクリックします。(図 5-1)

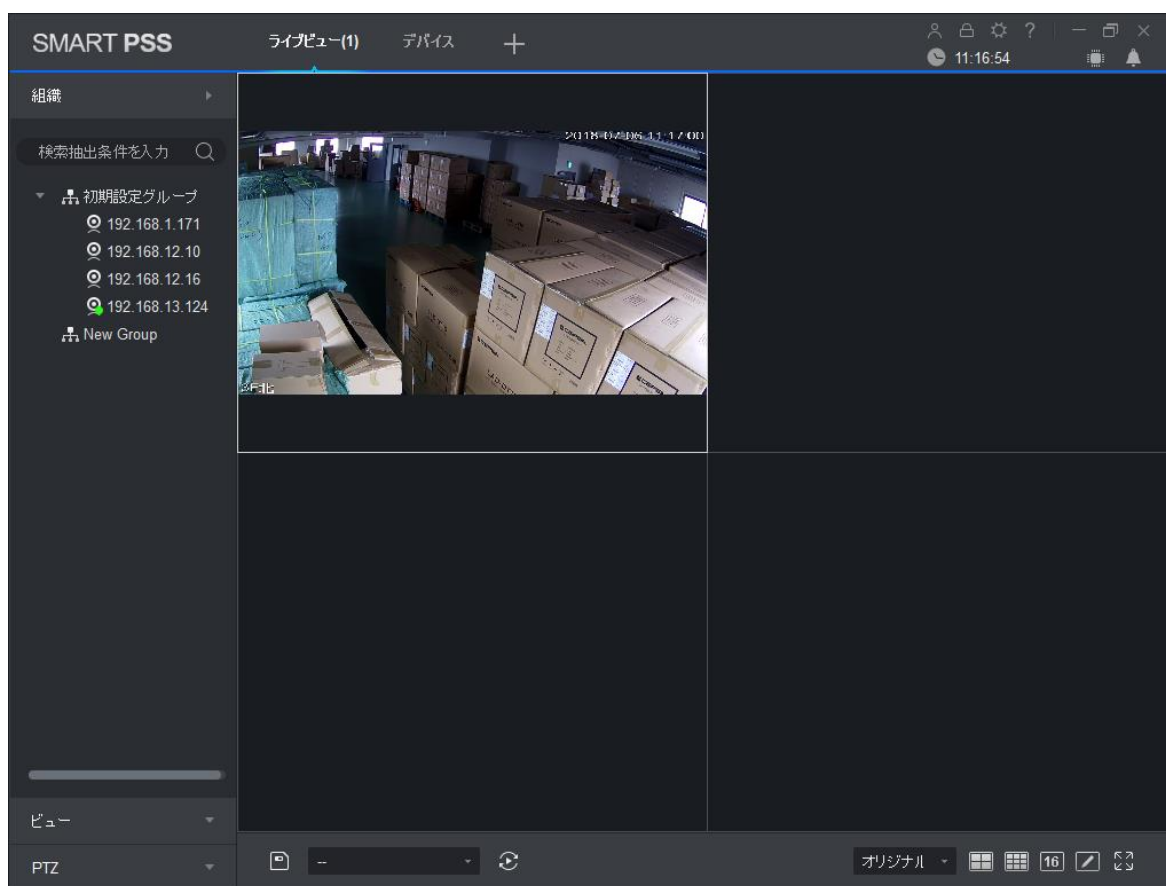


















図 5-1








No	機能	内容
1	デバイスリスト	<p>ストリームの切り替え、デバイスグループの作成、新しいマップの作成、チャンネル情報の更新、チャンネル名の変更、ログオフ、デバイスへのログインが可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・デフォルトデバイスツリーがデバイスツリー(デバイス別)に設定されている場合、デバイスツリーにはデバイスのグループとチャンネルが表示されます。</li><li>・デフォルトデバイスツリーが領域ツリー(チャンネル別)に設定されている場合、デバイスツリーに領域とチャンネルが表示されます。</li></ul>

ストリーム切替	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ/デバイスまたはエリアを右クリックし、メインストリームまたはサブストリームを選択します。ビデオウィンドウには、メインストリームまたはサブストリームのグループ/デバイスまたはエリア内のすべてのチャンネルのプレビューインターフェイスが表示されます。</li> <li><b>注:</b>・ビデオウィンドウの数がデバイス上のチャンネル数よりも小さい場合、ビデオウィンドウには、分割された画面のすべてのチャンネルのプレビューインターフェイスが表示されます。</li> <li>・チャンネルを右クリックしてメインストリームまたはサブストリームを選択すると、ビデオウィンドウがメインストリームになります。またはサブストリームにはチャンネルのプレビューインターフェイスが表示されます。</li> <li>・プレビューが有効になっているビデオウィンドウを選択し、右クリックして [ストリームタイプ] &gt; [メインストリーム]、[ストリームタイプ] &gt; [サブストリーム 1] または [ストリームタイプ] &gt; [サブストリーム 2] を選択します。</li> <li><b>注:</b>メインストリームサブストリームの両方を同じチャンネルで同時にプレビューできます。</li> </ul>
新しいグループ	<p>デフォルトデバイスツリーがデバイスツリー（デバイス別）に設定されている場合は、組織ツリーのグループを右クリックし、[新しいグループ]を選択し、[新規グループ]ボックスにグループ名を設定し、[保存]をクリックしてデバイスグループを作成します。</p> <p><b>注:</b>・複数のグループを連続して作成する必要がある場合は、グループ名を設定し、[保存して続行]をクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいグループを右クリックすると、グループ名を変更または削除できます。</li> <li>・デバイスのないグループのみ削除できます。</li> </ul>
新規マップ	<p>デフォルトのデバイスツリーがデバイスツリー（デバイス別）に設定されている場合は、組織ツリーエリアでグループを右クリックし、新規マップを選択して新しい E マップを作成します。</p> <p>マップを追加したら、マップまたはヒートマップを右クリックして、マップまたはホットスポットを編集、名前変更、および削除することができます。</p> <p>E マップは、プレビューされたデバイスのリストに直接表示することができます、あなたはプレビューウィンドウに直接ドラッグすることができます、プレビューを表示するには、次回を開くには、マップを保存することができます。</p> <p>新しいマップを作成する方法については、5.2.1 章を参照してください。</p>
新規領域	<p>デフォルトデバイスツリーが領域ツリー（チャンネル別）に設定されている場合、ゾーンツリーエリアで領域を右クリックし、新規領域を選択し、新規領域ボックスで名前を設定し、<b>保存</b>をクリックして領域を作成します。</p> <p><b>注:</b>・複数の領域を連続して作成する必要がある場合は、名前を設定して<b>保存して続行</b>をクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・領域名を変更したり削除するには、領域名を右クリックします。</li> <li>・デバイスのないグループのみ削除できます。</li> </ul>
デバイス設定	<p>デフォルトデバイスツリーがデバイスツリー（デバイス別）に設定されている場合、デバイスを右クリックし、ショートカットメニューから<b>デバイス設定</b>を選択するとデバイス設定画面が表示されます。</p> <p>デバイスの設定方法については、4 章を参照してください。</p> <p>デバイスのパラメータは異なる場合があります。パラメータの設定については、対応するデバイスマニュアルを参照してください。</p>

チャンネルプレビュー0	デフォルトデバイスツリーがデバイスツリー(デバイス別)に設定されている場合は、NVR デバイスを右クリックし、 <b>ゼロチャンネルプレビュー</b> を選択します。
チャンネルを見る	デフォルトデバイスツリーがデバイスツリー(デバイス別)に設定されている場合は、ストレージデバイスを右クリックし、 <b>チャンネルを表示する &gt; 連結チャンネルを見る</b> または <b>すべてのチャンネルを見る</b> を選択してチャンネル表示モードを切り替えます。
チャンネル名を変更する	デフォルトデバイスツリーがデバイスツリー(デバイス別)に設定されている場合は、ストレージデバイスの下のデバイスチャンネルを右クリックし、 <b>チャンネル名を変更する</b> を選択します。
IVS チャンネル設定	デフォルトデバイスツリーがデバイスツリー(デバイス別)に設定されている場合は、デバイスを右クリックし、 <b>IVS チャンネル設定</b> を選択して IVS Setting 画面に移動します。 5.3 章を参照してください。
アラーム出力	デフォルトデバイスツリーがデバイスツリー(デバイス別)に設定されている場合は、デバイスを右クリックして <b>アラーム出力</b> を選択し、アラーム出力チャンネルをオンまたはオフにします。
スマートトラック設定	デバイスを右クリックし、 <b>スマートトラック設定</b> を選択し、スマートトラック配列画面に移動します。 5.4 章を参照してください。
マスター-/スレーブトラック設定	デバイスを右クリックし、 <b>マスター/スレーブトラック設定</b> を選択してマスター/スレーブトラック設定画面に移動します。 5.4 章を参照して下さい。
リフレッシュ	<ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルトデバイスツリーがデバイスツリー(デバイス別)に設定されている場合、デバイスを右クリックして<b>リフレッシュ</b>を選択して、チャンネル名またはチャンネル番号の変更を更新します。</li> <li>デフォルトのデバイスツリーが領域ツリー(チャンネルごと)に設定されている場合は、デバイスを右クリックし、<b>リフレッシュ</b>を選択してチャンネル名を更新します。</li> </ul>
ログアウト/ログイン	デフォルトデバイスツリーがデバイスツリー(デバイス別)に設定されている場合、デバイスを右クリックして <b>ログアウト</b> を選択すると、ソフトウェアとデバイスが切断されます。ログアウト後、デバイスを右クリックして、 <b>ログイン</b> を選択するとデバイスと再接続します。
ビュー	<p>ビューの横がの時は、ビューインターフェースを開きます。</p> <p>ビューインターフェースを使用して、ビューグループの作成、ビュー名の変更、ビューグループの移動、ビューの削除、ビューレコードの再生を行うことができます。</p>

	新しいグループ	<p>ビューの横が  の時は、ビューインタフェースを開きます。</p> <p><b>新しいグループ</b>をクリックし、<b>新しいグループ</b>ダイアログ・ボックスでグループ名を設定し、<b>保存</b>をクリックしてビューグループを作成します。</p> <p>複数のグループを連続して作成する必要がある場合は、グループ名を設定し、<b>保存して続行</b>をクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>新しいグループ</b>を右クリックしたり、グループ名を変更したり、グループを削除したりできます。</li> <li>・表示のないグループのみ削除できます。</li> </ul>
	ビュー名変更	<p>ビューの横が  の時は、ビューインタフェースを開きます。</p> <p>ビュー名を右クリックし、<b>ビュー名変更</b>を選択します。</p>
	アイテムを削除する	<p>ビューの横が  の時は、ビューインタフェースを開きます。</p> <p>ビュー名を右クリックし、<b>アイテムを削除する</b>を選択します。</p>
	グループに移動	<p>ビューの横が  の時は、ビューインタフェースを開きます。</p> <p>ビュー名を右クリックし、<b>グループに移動</b>を選択し、移動先のグループを選択します。</p>
	再生	<p>ビューの横が  の時は、ビューインタフェースを開きます。</p> <p>ビュー名を右クリックし、<b>再生</b>を選択して<b>再生画面</b>に移動します。6 章を参照のこと。</p>
	PTZ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電動ズーム搭載カメラの場合、ズーム操作、フォーカス調整ができます。</li> <li>・PTZ 設定では、マウスシミュレーション、PTZ メニューのオン/オフ、PTZ の速度、方向、ズーム、フォーカス、アイリスの調整ができます。</li> </ul> <p>その他の機能をクリックして、プリセット、ツアー、水平回転、スキャン、トラック、アクセシビリティを設定します。</p> <p>5.6 章を参照して下さい。</p>
2	リアルタイムストリーム情報	<p>ライブウィンドウを選択すると、ステータスバーにリアルタイムストリーム情報が表示されます。</p>
	ローカル録画	<p>ビデオウィンドウを選択し  をクリックするか、右クリックして<b>録画開始</b>を選択しローカル録画を開始します。</p> <p><b>注:</b>録画パスは、<b>システム</b> &gt; <b>ファイルパス</b>で変更できます。</p>
	スナップショット	<p>ビデオウィンドウを選択し  をクリックするか、右クリックして<b>画像キャプチャ</b>を選択し、スナップショットを保存します。</p> <p><b>注:</b>画像パスは、<b>システム</b> &gt; <b>ファイルパス</b>で変更できます。</p>
	トリプルスナップショット	<p>ビデオウィンドウを選択し、右クリックしてトリプルスナップショットを選択すると、連続して 3 枚の画像をスナップショットします。</p>
	音声	<p>ビデオウィンドウを選択し、 をクリックするか、右クリックして<b>音声開始</b>を選択すると音声を出力します。</p>

音声通話	ビデオウィンドウを選択し、  をクリックするか、右クリックして <b>通話開始</b> を選択すると通話を開始します。
インターコムリモートパワーオン	ストレージデバイスの下のチャンネルをプレビューし、デバイスがリモートチャンネルのインターコムをサポートしている場合は、プレビューを開いた状態でビデオウィンドウを選択し、右クリックして <b>リモートインターコム</b> をオンにすると、クライアントのリモートチャンネルとストレージデバイスをオンにします。
インスタントリプレー	ビデオウィンドウを選択し、  をクリックするか、右クリックして <b>インスタント再生開始</b> を選択するとインスタント再生を開始します。
Zoom	ビデオウィンドウを選択し、  をクリックするとデジタルズームができます。
ビデオを閉じる	ビデオウィンドウを選択し、  をクリックするとビデオを閉じます。
全てのビデオを閉じる	ビデオウィンドウを選択し、右クリックして <b>すべてのビデオを閉じる</b> を選択すると全てのビデオを閉じます。
ライブプレビュー	組織ツリーでデバイスをダブルクリックするか、デバイスをビデオウィンドウにドラッグするとライブプレビューを表示します。
再生	プレビュービデオウィンドウを選択し、 <b>再生</b> を右クリックして再生画面に移動します。6 章を参照のこと。
魚眼取り付けモード	<p><b>注:</b>フィッシュアイカメラの場合のみ有効。</p> <p>プレビューをオンにしてビデオウィンドウを選択し、<b>魚眼取り付けモード</b>を右クリックし、デバイスの実際の取り付け位置に応じてモードを選択します。</p> <p>魚眼取り付けモードには、 (天井)、 (壁掛け)、 (卓上) が含まれます。</p>
魚眼視点	<p><b>注:</b>フィッシュアイカメラの場合のみ有効。</p> <p>実際の状況に応じて、プレビュービデオウィンドウを選択し、<b>魚眼視点</b>を右クリックして、目的のビューモードを選択します。</p> <p>ビューモードは、フィッシュアイカメラの設置モードによって異なります。5.7 章を参照して下さい。</p>
マルチスクリーントラック	<p>マルチスクリーントラックには、ノーマルモード、1+3 モード、および 1+5 モードの 3 つのモードが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノーマルモード: 元の画像。</li> <li>・1+3 モード: オリジナル画像と 3 つのサブウィンドウで構成され、オリジナル画像を 3 つのサブウィンドウの位置に調整できます。</li> <li>・1+5 モード: オリジナル画像と 5 つのサブウィンドウで構成され、オリジナル画像を 5 つのサブウィンドウの位置に調整できます。</li> </ul>
画像調整	これは、PC モニターのビデオ画面のプレビュー効果を調整するために使用され、デバイスの実際のイメージパラメータは変更されません。ビデオ画面の明るさ、コントラスト、彩度、色相を調整することができます。

	IVS ルール	インテリジェントルールまたはインテリジェントオブジェクトボックスをビデオ画面に表示させます。 プレビューをオンにしてビデオウィンドウを選択し、 <b>インテリジェントオーバーレイ &gt; IVS ルール</b> または <b>インテリジェントオブジェクトボックス</b> を右クリックします。
	ビューの保存	 をクリックすると、現在のプレビュービデオウィンドウがビューとして保存され、プレビュー、再生、ツアーのインターフェイスで即座に表示できます。  ラウンドロビンスケジュールを作成した後、  をクリックして、ツアー&タスクに保存をチェックするか、ビューをツアープランに保存することもできます。
	ツアーを開始する	ツアープランを作成した後、ツアープランを選択してクリックすると、ツアーを有効にすることができます。
5	ウィンドウスケール	ビデオアスペクト比は2通りの方法で設定できます。 •ビデオウィンドウを選択し、右クリックして <b>ウィンドウスケール</b> を選択し、ビデオ画面の表示比を選択します。 •  を選択するとオリジナルビデオアスペクト比で表示します。
	ウィンドウ表示モード	•  をクリックすると、対応するウィンドウ表示モード数に設定されます。 •  をクリックすると、ポップアップインターフェイスで、ビデオウィンドウの表示モードをカスタマイズできます。 • Normal Split でビデオウィンドウ表示モードを選択し、ディスプレイの右上隅の  をクリックします。3つのビデオウィンドウ表示モードの最新のコレクションが、ツールバーのプレビューインターフェイスに表示されます。 • Custom Split で、カスタムビデオウィンドウ表示モードをクリックします。 • ウィンドウ表示モードの  をクリックまたはフルスクリーンを選択すると、ビデオウィンドウをフルスクリーンで表示します。

## 5.2 マップ

マップを使用すると、ビデオチャンネルまたはアラームチャンネルとライブプレビューの位置を直截的に知ることができます。

### 5.2.1 新規マップ

- 1) 組織ツリーでグループを右クリックし、新規マップを選択します。(図 5-2)



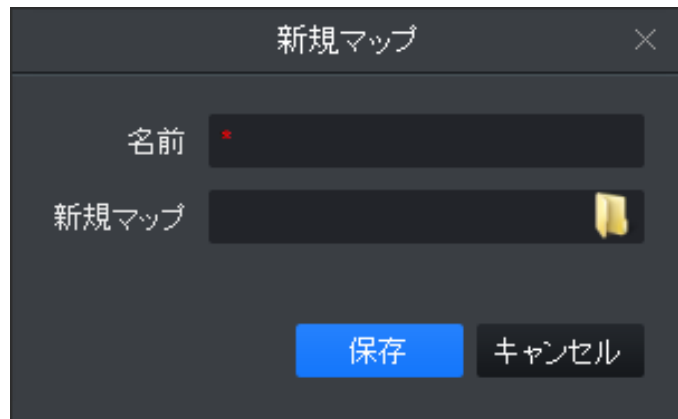







図 5-2

- 2) マップ名を設定し、画像のパスを選択します。
- 3) **保存**をクリックします。

注:

- をクリックすると、マップ上にホットゾーンを作成できます。(5.2.2 章)
- をクリックすると、マップ名を変更したり、画像を置き換えられます。
- をクリックして透明度を調整できます。
- 右下隅にマップの全体図を見ることができます。 をクリックすると全体図を閉じ、 をクリックすると全体図が表示されます。

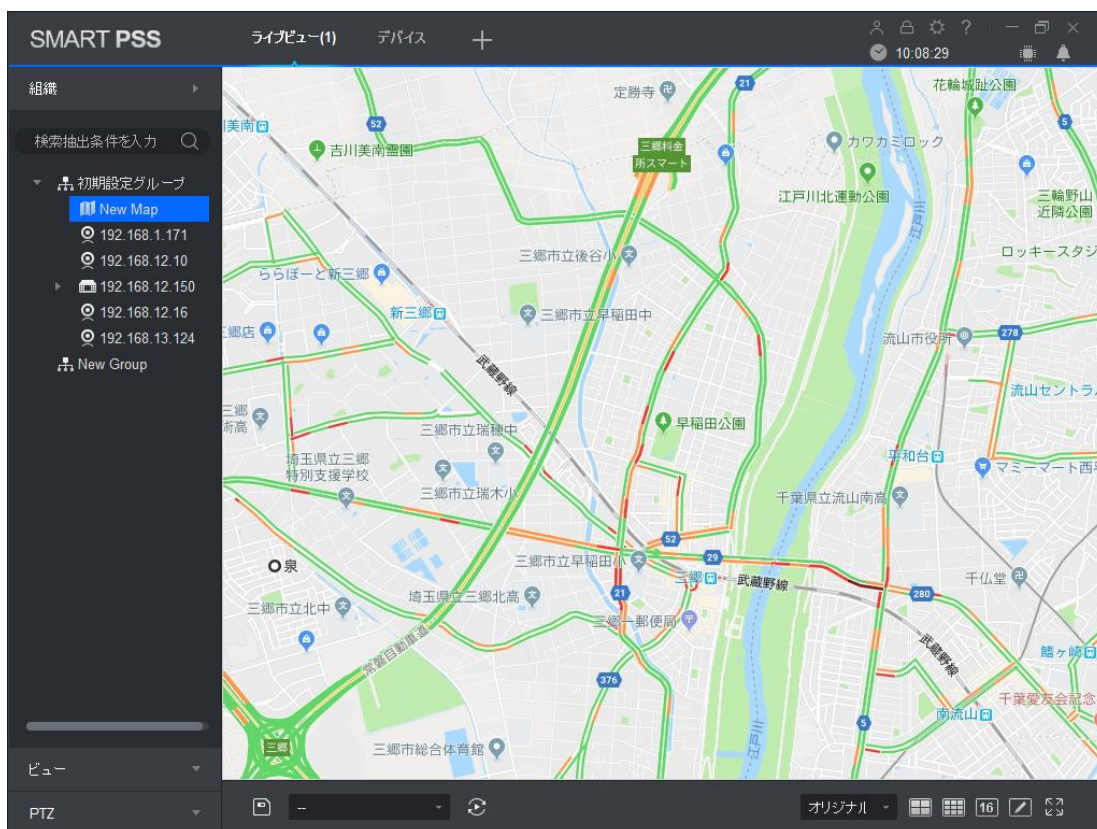





図 5-3

- 4) カメラチャンネルをマップ上の対応する位置にドラッグして、カメラモニターエリアを調整するか、カメラアラーム入力をマップにドラッグします。
- 5)  をクリックしてマップを保存します。
- 6) マップ上でデバイスのライブプレビューを表示します。
  - a) デバイスリストのライブビュー画面を開き、ヒートマップをダブルクリックするか、ヒートマップをプレビューウィンドウにドラッグします。
  - b) マップ上でカメラをクリックするか、カメラ上にマウスを数秒間置くと、ポップアップウィンドウでライブプレビューを表示できます。

**注:**

マップのプレビューウィンドウをクリックし、右クリックして**全チャンネルをオープン**を選択すると、プレビューウィンドウの下部にすべてのデバイスのライブプレビューが表示されます。

マップのプレビューウィンドウをクリックし、右クリックして**ビデオウォール**を選択すると、ポップアップウィンドウにすべてのデバイスのライブプレビューを表示します。

### 5.2.2 新規ホットゾーン

ホットゾーンの場合は、マップ上に対応する画像を追加できます。

- 1) マップ画面で、 をクリックします。(図 5-4)

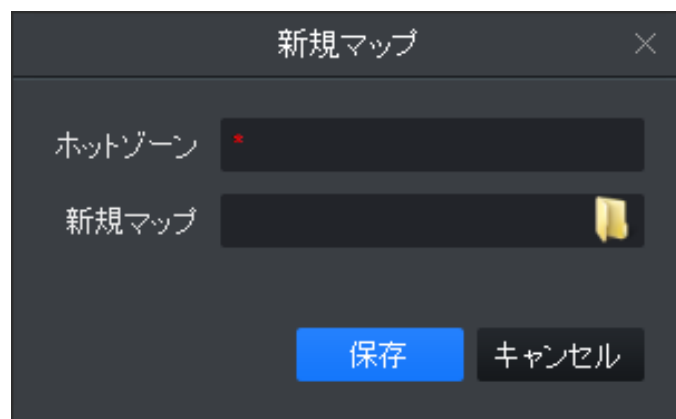


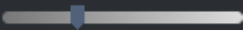




図 5-4

- 2) ホットゾーン名を設定し、画像パスを選択します。
- 3) **保存**をクリックします。(図 5-5)を参照してください。

**注:**

-  をクリックすると新規ホットゾーンを作成できます。
  -  をクリックするとホットゾーン名を変更したり、ホットゾーンを置き換えられます。
  - **不透明度**  をクリックして、カメラのモニターエリアの透明度を調整できます。
- 右下隅にホットゾーンの全体図が表示されます。  をクリックすると全体図を閉じ、  をクリックすると全体

図が表示されます。

- 左下隅にある画像をクリックして、前のホットゾーンまたはマップに戻れます。

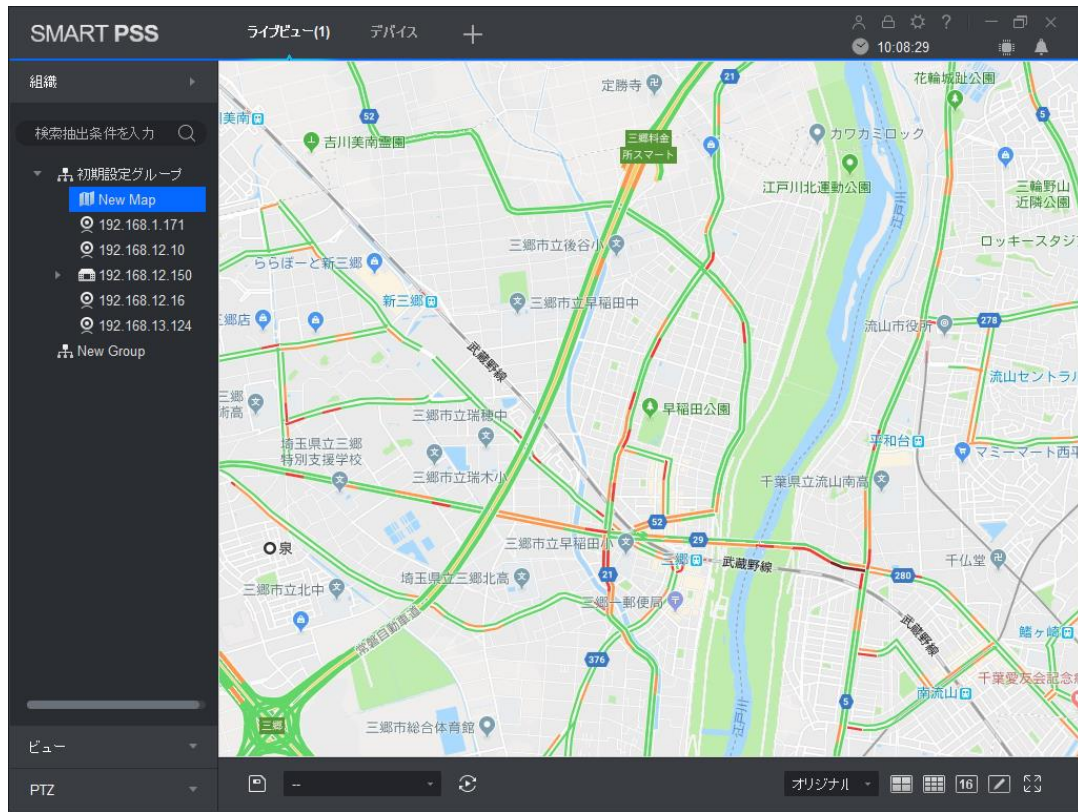




図 5-5

- 4) ホットゾーンをダブルクリックし、マップ上の対応するモニター位置にカメラをドラッグして、カメラモニターエリアを調整します。
- 5)  をクリックしてホットゾーンを保存します。
- 6) マップ上でデバイスのライブプレビューを表示します。  
c) ライブビュー画面を開き、デバイスリストでホットゾーンをダブルクリックするか、ホットゾーンをプレビューウィンドウにドラッグします。

注:

ヒートマッププレビューウィンドウのステータスバーで、 をクリックしてマッププレビューに戻ります。

d) マップ上でカメラをクリックするか、カメラ上にマウスを数秒間置くと、ポップアップウィンドウでライブプレビューを見ることができます。

注:

マップのプレビューウィンドウをクリックし、右クリックして**全チャンネルをオープン**を選択すると、プレビューウィンドウの下部にすべてのデバイスのライブが表示されます。

マップ上のプレビューウィンドウをクリックし、右クリックして**ビデオウォール**を選択すると、ポップアップウィンドウにすべてのデバイスのライブプレビューを表示します。

## 5.3 IVS チャンネル設定

IVS チャンネルを設定することにより、IVS プランを構成することができます。カメラにより、実際のインターフェースに応じて異なる IVS プランをサポートします。

- 1) ライブビュー画面の組織ツリーでデバイスを右クリックし、**IVS チャンネル設定**を選択します。(図 5-6)

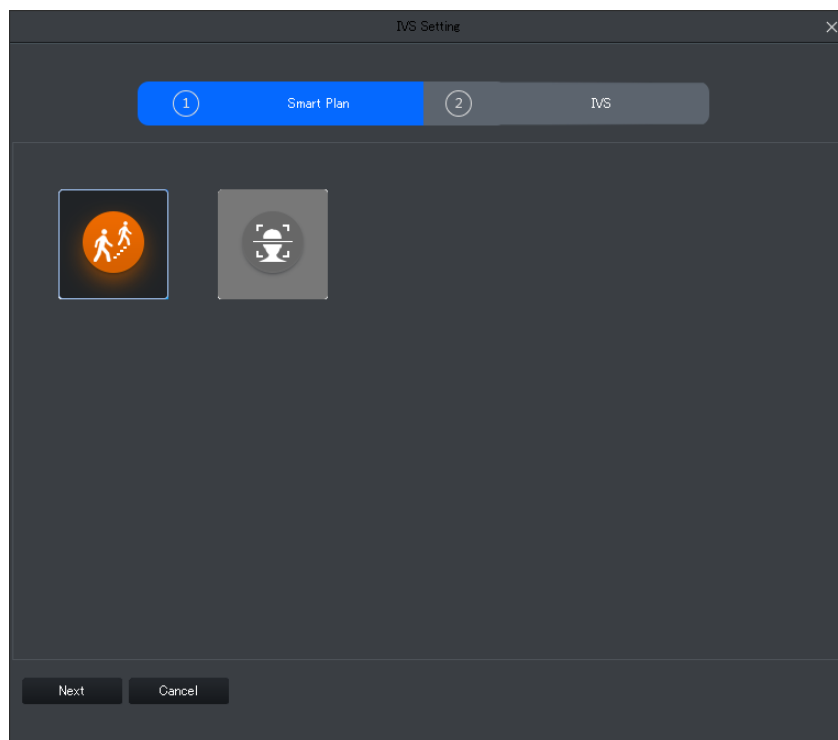


図 5-6

- 2) 表示された IVS プランをクリックし、必要な IVS アイコンをクリックして、IVS プランを選択します。
- 3) **Next** をクリックします。(図 5-7)

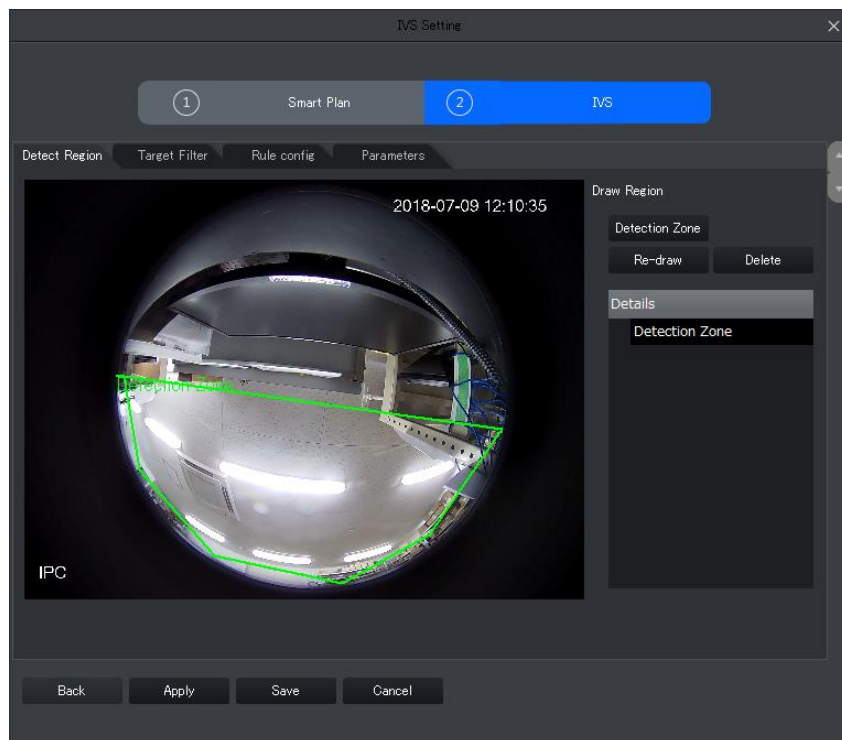




図 5-7

- 4) フィールドエリアをマークします。
  - a) ビデオウィンドウのマークエリアをクリックしてマークエリアを描画し、右クリックして描画を完了します。マークエリアを描くには少なくとも 3 ポイントが必要です。
  - b) 垂直ルーラーの長さを設定し、 をクリックしてマークエリアに垂直ルーラーを描画し、左クリックして描画を完了します。  
この手順を繰り返して、マークエリアに 3 つの垂直ルーラーを追加します。
  - c) 水平ルーラーの長さを設定し、 をクリックして、マークエリアに水平ルーラーを描画し、左クリックして描画を完了します。

**注:**

- 垂直または水平のルーラーを選択し、**再描画**をクリックし、ルーラーを再描画し、校正エリアを選択して、再描画をクリックし、校正領域、垂直スケール、および水平ルーラーを再描画します。
- 縦または横のルーラーを選択し、**Delete** をクリックし、校正エリアおよび水平ルーラーを削除します。

- 5) (オプション) 垂直または水平方向の距離を測定します。

**注:**

測定する必要がある場合は、この手順に従う必要があります。

- a) [適用] をクリックして、表示された奥行き深度を保存します。
- b) 距離を測定する。

- 垂直距離をクリックし、マークされた領域に垂直線をマークし、システムは描画された垂直長を表示します。
- 水平距離をクリックし、マークされた領域の水平線をマークします。システムは、描画された水平長を表示します。

- 6) **Save** をクリックします。

## 5.4 Smart Track Config (Fisheye+Dome)

※使用しません。

## 5.5 Smart Track Config (Dome+Fixed)

※使用しません。

## 5.6 PTZ

デバイスにより PTZ インターフェースは異なります。(図 5-8)



図 5-8













パラメータ	内容
ズーム	 や  をクリックして、電動ズームを調節できます。
フォーカス	 や  をクリックして、フォーカスを調節できます。
AUTO FOCUS	オートフォーカスを有効にします。
FOCUS リセット	フォーカスをリセットします。















図 5-9

パラメータ	説明
PTZ メニュー	 をクリックして、PTZ メニューを表示させます。
マウスシミュレーター	 をクリックして、マウスでの PTZ 操作を可能にします。
方向キー	8 方向に操作ができます。
3D ポジショニング	 をクリックしてビデオ画面上に四角枠を描き、PTZ 操作をすることができます。
速度	制御する PTZ の回転速度を 1～8 の異なる速度ステップに設定することができます。
Zoom	 や  をクリックして、電動ズームを調節できます。
フォーカス	 や  をクリックして、フォーカスを調節できます。
絞り	 や  をクリックして、アイリスを調節できます。
プリセット	プリセットを設定すると、カメラに対応するプリセット位置にすばやく移動できます。 <b>注:</b> 最大 128 のプリセットを設定できます。
ツアー	ツアーを設定することにより、カメラは異なるプリセットポイント間をクルーズすることができます。 <b>注:</b> 最大 8 つのツアーグループを設定できます。
パン	パンを設定すると、カメラを水平に回転させることができます。 パンを選択してクリックし、水平回転をオンにします。
スキャン	2つの境界を設定することにより、カメラは2つの境界間を繰り返し回転します。
パターン	ツアートラックを設定することで、カメラの回転中のユーザーの操作が記録され、トラックレコードに従ってカメラを回転させることができます。
Aux	AUX を使用すると、AUX コマンドを入力して Aux ポイントをオンにすることができます。

## 5.7 フィッシュアイビューモード

Fisheye デバイスのみ、魚眼取り付けモードおよび魚眼視点をサポートしています。魚眼視点に対応する魚眼取り付けモードは、次の表を参照してください。

パラメータ	説明	
魚眼取り付けモード	<p>現在のビデオ画面 (デフォルトでは元のイメージモードをサポート) は、様々な取付方法に従って、次の様な異なった表示方法があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天井設置: 1P+1, 2P, 1+2, 1+3, 1+4, 1P+6, 1+8</li> <li>・壁面設置: 1P, 1P+3, 1P+4, 1P+8</li> <li>・卓上設置: 1P+1, 2P, 1+3, 1+4, 1P+6, 1+8</li> </ul> <p>注: 魚眼取り付けモードを切り替えると、デフォルトで元のイメージモードが表示されます。</p>	
天井/壁面/卓上	 オリジナル	無修正のオリジナル画像です。
壁面	 1+2	オリジナル画像と 2 つの独立した画像で、ズームと移動をサポートしたサブフレームです。
天井/壁面	 1P+1	360° パノラマと拡大パノラマサブフレームです。
	 2P	連動する2つの 180° パノラマ画像です
	 1+3	オリジナル画像+3 つの独立したサブフレームです。
	 1+4	オリジナル画像+4 のサブフレームです。
	 1P+6	360° パノラマ+6 つの独立したサブフレームです。
	 1P+8	オリジナル画像+8 の独立したサブフレームです。
壁面	 1P	360° パノラマ画像です。
	 1P+3	360° パノラマ画像+ 3つサブフレームです。
	 1P+4	360° パノラマ画像+ 4 つのサブフレームです。
	 1P+8	360° パノラマ画像+8 つのサブフレームをです。

## 6 再生

### 6.1 再生

デバイス録画、デバイススクリーンショット、ローカル録画、ローカルスクリーンショットを再生したりエクスポートができます。

新規タブで再生を選択します(図 6-1)。

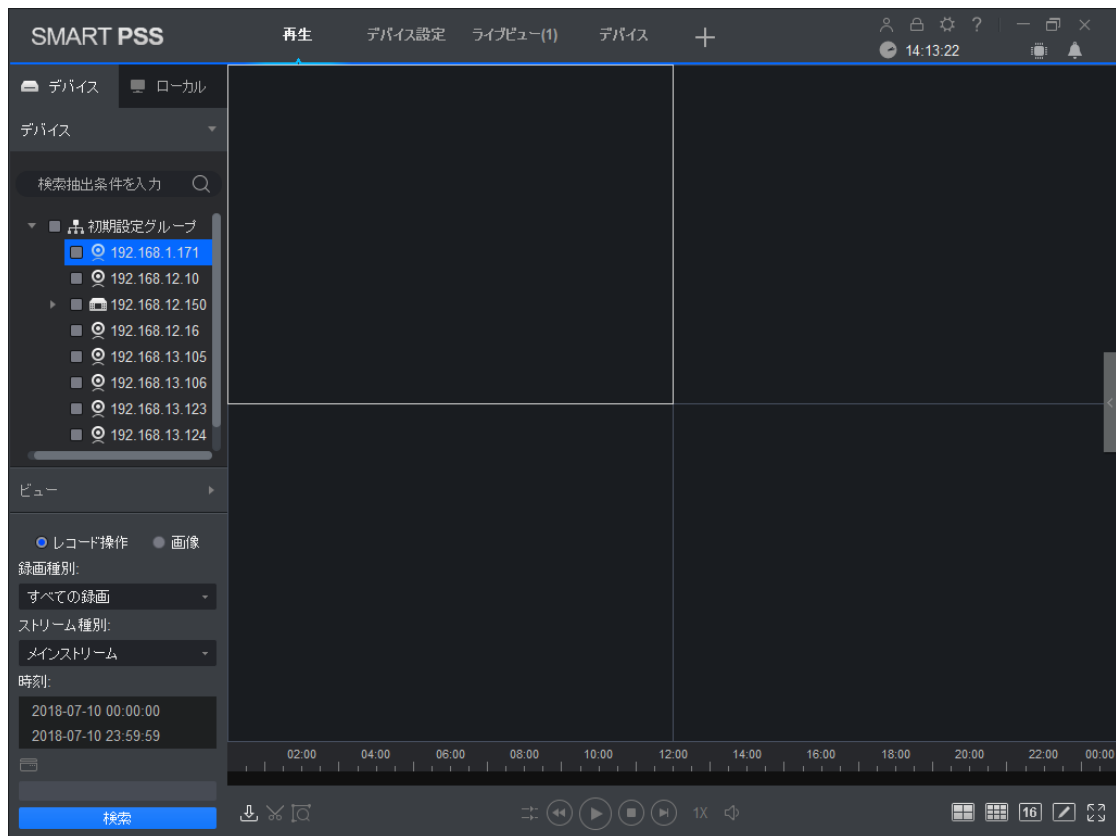
























図 6-1



No.	タスク	内容
1	ビデオ再生	デバイスの録画データを再生することができます。 (6.2 を参照)
	ピクチャ再生	デバイスのスナップショットデータを表示することができます。 (6.4 を参照)
	ローカルビデオ再生	ローカルビデオを再生することができます。
	ローカルピクチャ再生	ローカルピクチャを再生することができます。
	組織ツリー / エリアツリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デフォルトデバイスツリーがデバイスツリー(デバイス別)に設定されている場合、デバイスツリーにはデバイスのグループ化とチャンネルが表示されます。</li> <li>・デフォルトデバイスツリーがエリアツリー(チャンネル別)に設定されている場合、デバイスツリーはチャンネルを表示します。</li> </ul>
	ログアウト / ログイン	デフォルトデバイスツリーがデバイスツリー(デバイス別)に設定されている場合、デバイスを右クリックしてログアウトを選択します。ソフトウェアとデバイスが接続されていません。ログアウトした後、デバイスを右クリックして、 <b>ログイン</b> を選択し、デバイスと再接続します。
2	ビュー	<b>デバイスタブ</b> で、 <b>[背面]</b> をクリックします。ビューを開くインターフェイス、再生ビューのビデオデバイス。 (4.1 を参照)
	再生ストリーム情報	再生ビデオ画面を選択すると、ステータスバーに再生ストリーム情報を表示します。
	スナップショット	再生ビデオ画面で  をクリックするか、右クリックして <b>画像キャプチャ</b> を選択します。 システム設定  をクリックし、画像を保存するパスを変更することができます。
	ズーム	再生ビデオ画面で、  をクリックするとズームができます。
	ビデオを閉じる	再生ビデオ画面で、  をクリックするか右クリックして <b>ビデオを閉じる</b> を選択すると再生画像を閉じます。
3	すべてのビデオを閉じる	再生ビデオ画面を右クリックして <b>すべてのビデオを閉じる</b> を選択すると、すべての再生ビデオ画面を閉じます。
	ウィンドウスケール	再生ビデオ画面を選択し、右クリックしてウィンドウスケールのビデオアスペクト比を選択します。

	オーディオ	次の 2 つの方法で音声を有効にすることができます。 ・開いている再生ビデオ画面を選択し、 <b>オーディオ</b> を右クリックします。 ・再生コントロールツールバーのオーディオをクリックし、音量を調整します。
4	デバイス録画の検索条件設定	デバイスタブで、デバイスまたはビューを選択し、 <b>レコード操作</b> を選択し、 <b>録画種別</b> 、 <b>ストリーム種別</b> 、開始時間および終了時間を設定し <b>検索</b> をクリックすると、録画情報がスケジュールボックスに表示されます。 ・記録タイプには、すべての録画、一般の記録、アラーム録画、MD、インテリジェントおよびカード録画のすべてのタイプが含まれます。 ・ストリームにはメインストリームとサブストリームが含まれます。 ・開始時間と終了時間の間隔は 1 日以内でなければなりません。
	デバイススクリーンショットの検索条件設定	デバイスタブで、デバイスを選択するか、またはビューを選択し、 <b>画像</b> を選択し、開始時間と終了時間を設定し、 <b>検索</b> をクリックすると、再生ウィンドウに画像情報が表示されます。 開始時刻と終了時刻の間隔は 1 日以内でなければなりません。
5	タイムプログレスバー	既存のビデオ表示情報を表示します。
6	エクスポート進捗	 をクリックすると、ビデオまたは画像のエクスポートの進捗状況と結果を表示できます。
	ビデオエクスポート	録画ファイルを書き出します(6.3 を参照)。
	ピクチャエクスポート	スクリーンショットを書き出します。(6.5 を参照)。
	ローカルビデオエクスポート	ローカル録画ファイルを書き出します。
	ビデオを開く	ローカルの場合のみ
	スマート検索	開いている再生ビデオ画面を選択し、  をクリックして、再生ビデオ画面で <b>スマート検索</b> を選択し、再度  をクリックします。ソフトウェアはスマート検出を検索し、  をクリックしてスマート検索を終了します。

7	再生コントロールツールバー	<p>ビデオの再生とオーディオを制御します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•  すべてのチャンネルを同期再生します。</li> <li>•  ビデオを逆再生します。</li> <li>•  ビデオ再生を開始します。</li> <li>•  ビデオ再生を一時停止します。</li> <li>•  ビデオ再生を停止します。</li> <li>•  シングルフレームの逆方向再生。</li> <li>•  シングルフレームフォワード再生。</li> <li>•  再生速度を調整します。</li> </ul>
8	ビデオ画面表示モード設定	<p>    で目的のビデオ画面の表示モードを選択するか、 を選択してビデオ画面の表示モードをカスタマイズします。</p> <p>ビデオ画面を右クリックしフルスクリーンを選択するか、ビデオ画面の をクリックしてフルスクリーン表示にできます。</p>
9	ビデオファイルリスト	<p>アイコンをクリックすると対応するチャンネルのビデオファイルリストが展開され、ビデオファイルを選択して書き出すことができます。</p>


## 6.2 録画データ検索

条件

チャンネル内に録画データがある場合。

ステップ:

- 1) 再生画面で、**デバイスタブ**をクリックします。
- 2) **組織ツリー**で、デバイスチャンネルを選択するか、**ビュータブ**でビューを選択します。
- 3) **レコード種別/画像**を選択し、検索条件を設定します。
  - a) **録画種別**と**ストリーム種別**を選択し、期間を設定します。
  - b) **検索**をクリックします。

- 4) 録画データのあるウィンドウを選択し、 をクリックします。(図 6-2)

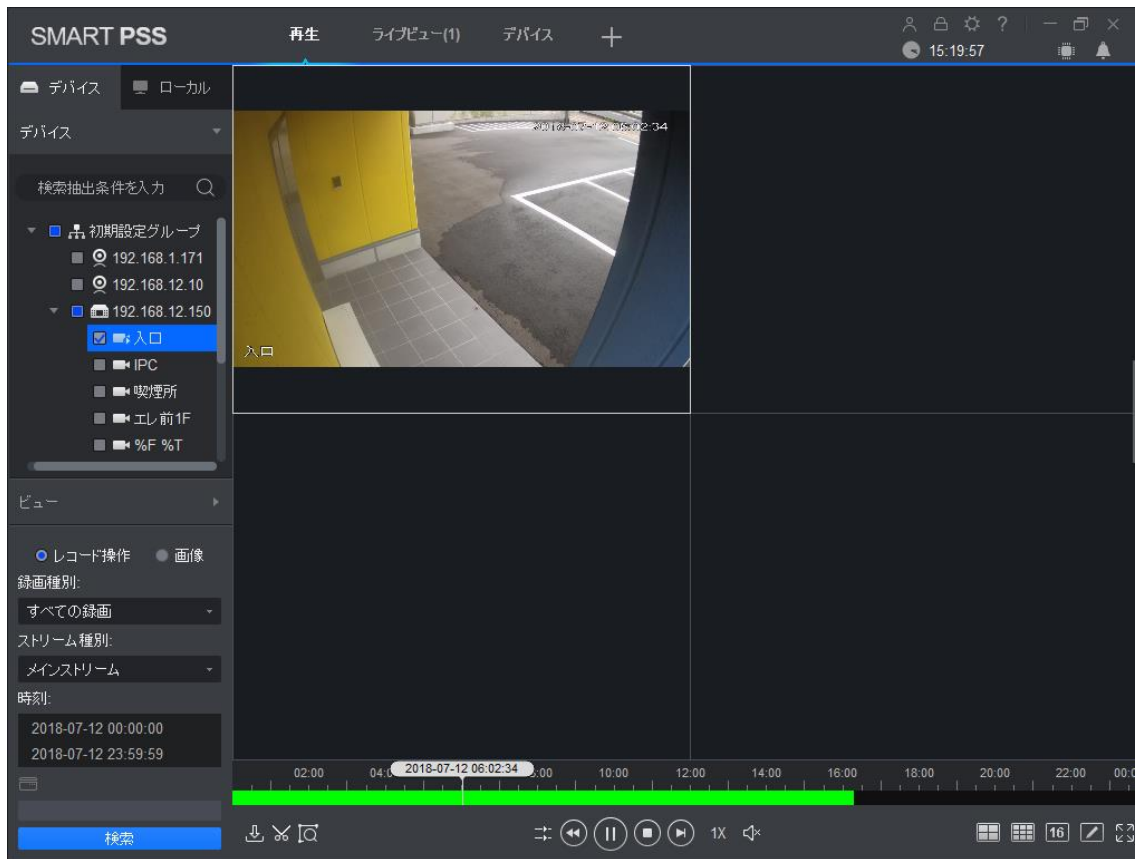





図 6-2

### 6.3 録画データのエクスポート

条件

チャンネル内に録画データがある場合。

ステップ:

- 1) 再生画面で、**デバイス**タブをクリックします。
- 2) **組織**ツリーで、デバイスチャンネルを選択するか、**ビュー**ツリーでビューを選択します。
- 3) 検索条件を設定します。
  - a) **レコード種別**と**ストリーム種別**を選択し、期間を設定します。
  - b) **検索**をクリックします。
- 4) 録画データのあるウィンドウを選択し、をクリックします。
- 5) をクリックし、マウスで保存期間を選択します。必要に応じて期間を調整し、もう一度をクリックして録画データをエクスポートします。(図 6-3)

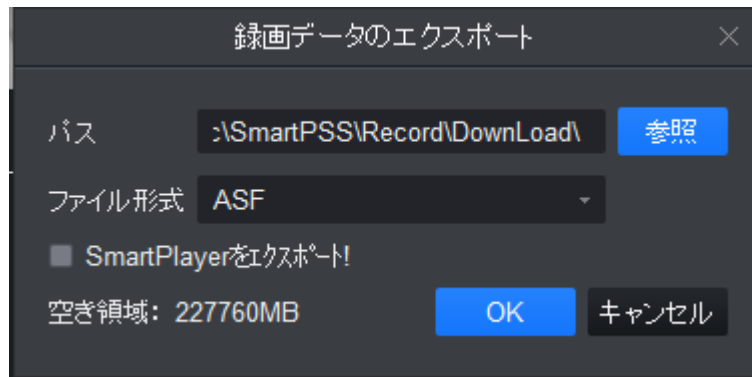


図 6-3

6) エクスポートパスとフォーマットを選択します。

**注:**

エクスポートフォーマットが元フォーマットに設定されている場合、**SmartPlayer をエクスポート**にチェックを入れ、SmartPlayer もエクスポートする様、確認してください。

7) **OK** をクリックします。

再生停止の情報が表示されたら、**OK** をクリックします。

**エクスポート進捗**ダイアログボックスが表示されます。(図 6-4)

ダウンロードが完了したら、完了したことを知らせるメッセージが表示されます。

**エクスポート中**タブをクリックするとダウンロードの進行状況を表示します。エクスポート中のビデオを一時停止したり、ダウンロードしてビデオを再開させることができます。**エクスポート済**タブをクリックすると、ダウンロード履歴を表示し、ビデオ保存パスを開くことができます。



図 6-4

## 6.4 静止画データの再生



条件

チャンネル内に静止画画像がある場合。

ステップ:

- 1) 再生画面で、**デバイスタブ**をクリックします。
- 2) **組織ツリー**で、デバイスチャンネルを選択するか、**ビューツリー**でビューを選択します。
- 3) 画像を選択し、時間を設定します。(図 6-5)

を右クリックすると、デバイスのピクチャリストを開いたり閉じたりできます。

デバイスピクチャリストで、をクリックすると、デバイスピクチャがリスト形式で表示されます。をクリックすると、デバイスピクチャがサムネイル形式で表示されます。

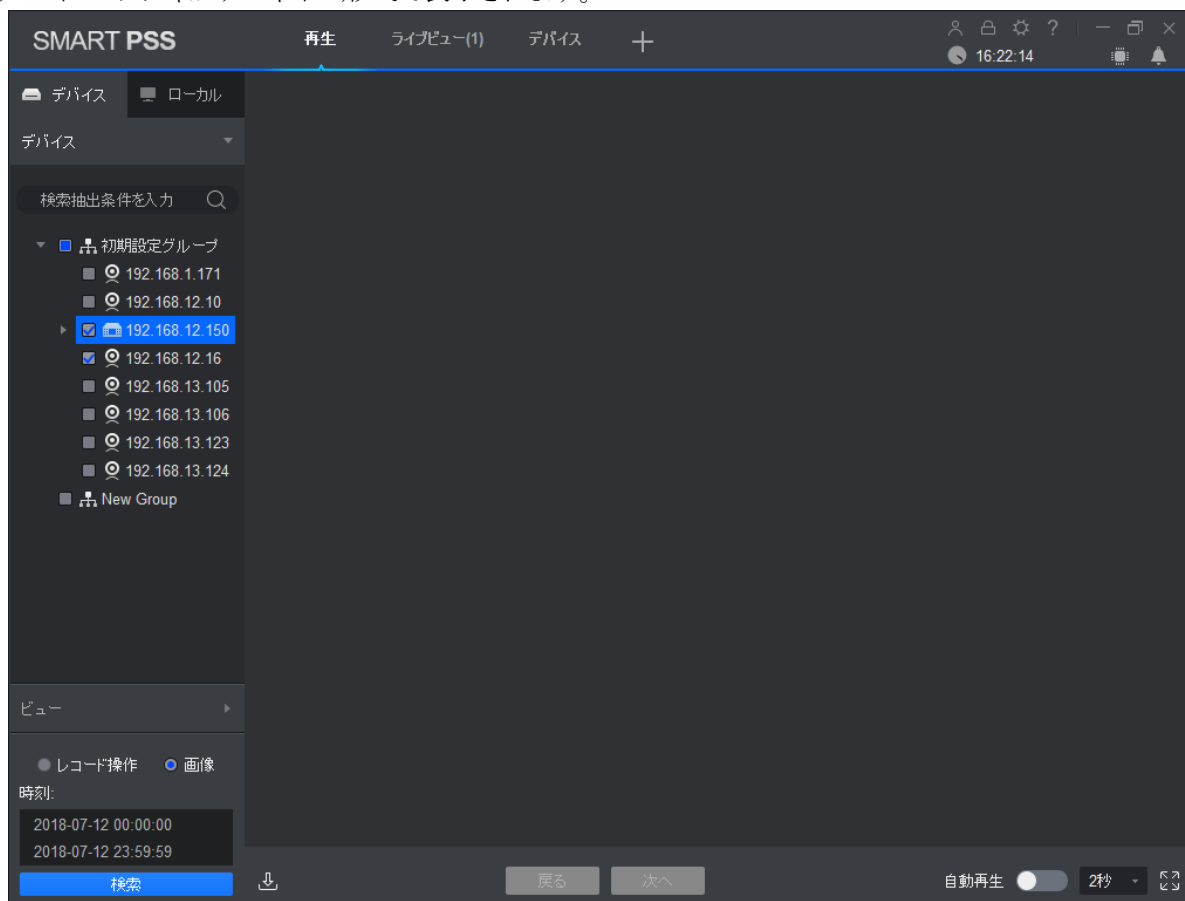


図 6-5

- 4) 画像を再生します。

- ・手動再生: **次へ**または**プレビュー**をクリックします。
- ・自動再生: **自動再生**を ON にし、間隔を設定すると、ローカルピクチャが自動再生されます。


## 6.5 静止画データのエクスポート


条件

チャンネル内に静止画画像がある場合。

ステップ:

- 1) 再生画面で、**デバイスタブ**を選択します。
- 2) **組織ツリー**で、デバイスチャンネルまたは**ビューツリー**のビューを選択します。
- 3) **画像**を選択して時間を設定します。

- 4)  を右をクリックして、画像をエクスポートします。

- 5)  をクリックします。(図 6-6)

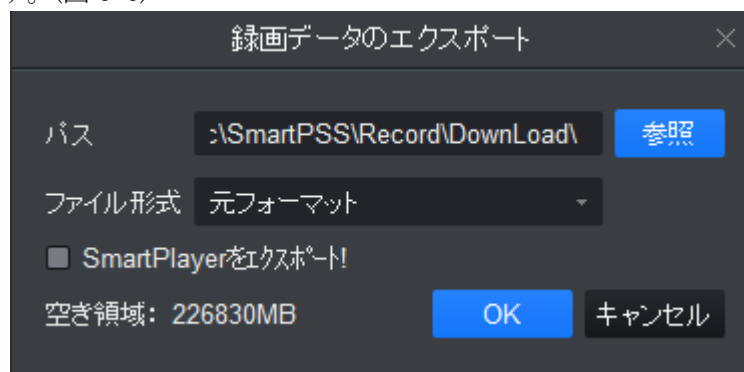


図 6-6

- 6) エクスポートパスを選択し、**OK** をクリックします。(図 6-7)

**エクスポート済**タブをクリックすると、ダウンロード画像を表示したり、ピクチャストレージパスを開いたり、ダウンロードしたファイルを削除したりできます。




図 6-7



## 7 システム

最初に Smart PSS にログインした際、システムパラメータを設定する必要があります。それはネットワークパフォーマンス、ログ保存時間、ログイン時の処理、静止画や動画の保存フォルダ等です。次のステップに従って進んで下さい。

図 1-1 の  をクリックするとシステム画面を表示します。(図 7-1)

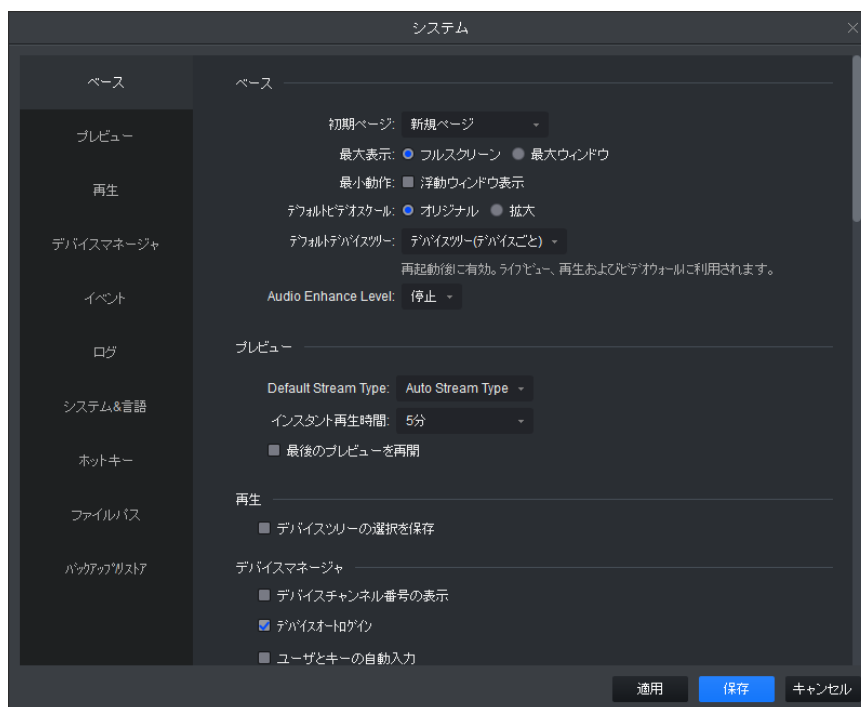


図 7-1


項目	機能
ベース	画面表示に関する設定をします。
プレビュー	プレビュー画面の設定をします。
再生	再生画面のデバイスツリーの設定をします。
デバイスマネージャ	デバイスマネージャ画面の設定をします。
イベント	イベント画面の設定をします。
ログ	ログ画面のログ保存期間を設定します。
システム&言語	ネットワーク帯域・システム時刻・言語の設定をします。
ホットキー	キーボードショートカットを設定します。
ファイルパス	画像・録画ファイルの保存フォルダを設定します。
バックアップ/リストア	システムファイルのバックアップ・リストアを実行します。

適用をクリックし、保存をクリックして画面を閉じます。

## 8 ユーザ

ログインユーザの追加・変更・削除出来ます。

### 8.1 ユーザ追加

- 1) ユーザ  をクリックするとユーザ画面が開きます。(図 8-1)

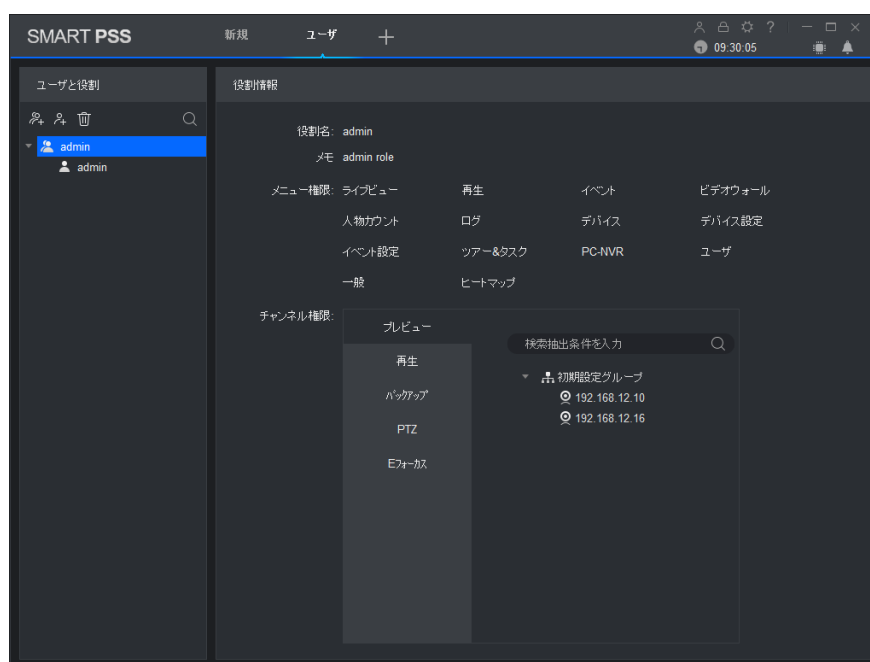


図 8-1


- 2) ユーザの追加  をクリックすると以下の画面を表示します。(図 8-2)





図 8-2

- 3) **役割**を選択し(初期値は admin のみ)ユーザ名、パスワード、確認(再パスワード)を入力します。必要ならメモを追加します。更に新規ユーザのためのメニュー権限、チャンネル権限を選択します。

名称	機能
役割	ドロップダウンリストからユーザータイプを選択します。
ユーザー名	ユーザー名を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。
確認	再度パスワードを入力します。
メモ	必要なら追加情報を入力します。
メニュー権限	このユーザーに許可する権限を選択しチェックを入れます。新規ユーザが”admin”の場合、標準では全ての項目にチェックが入ります。
チャンネル権限	チャンネル毎に権限を選択したい場合、各々の項目にチェックを入れます。

- 4) **保存**ボタンをクリックしユーザを追加します。

## 8.2 ユーザ変更・削除

リストからユーザを選択し  や  をクリックします。  
出来ます。